

## 野外炊飯タイムテーブル例（活動の流れ）

野外炊飯と火おこし体験を組み合わせる場合（利用団体が50人程度まで可能）

| 活 動 内 容  | 午前実施の場合<br>時刻(所要時間・分) | 午前実施の場合<br>時刻(所要時間・分) |
|--|-----------------------|-----------------------|
| 玄関前に集合、活動開始<br>(食材の運搬、用具の準備・運搬)  | 9:00(30)              | 13:00(10)             |
| 食材・用具運搬完了→注意事項等確認  | 9:30(10)              | 13:30(10)             |
| 活動開始<br>(食材刻み等下ごしらえ・かまど準備)   | 9:40(40)              | 13:40(40)             |
| 火おこしの説明(一斉)  | 10:20(10)             | 14:20(10)             |
| 火おこし体験開始(30~40分)<br>※火をおこせた班からかまどに火を入れて調理を再開します。<br>※火がつくタイミングによって調理の進み具合が班ごとに異なりますので、引率者はあらかじめ制限時間(30~40分の間で検討)を決め、火がつかない班には「友情の火」を分けてください。 | 10:30(40)             | 14:30(40)             |
| かまどに火入れ・調理開始   | 11:10(40)             | 15:10(40)             |
| 食事開始   | 11:50(30)             | 15:50(30)             |
| 後片付け開始   | 12:20(40)             | 16:20(40)             |
| <b>活動終了</b>  | <b>13:00</b>          | <b>17:00</b>          |

- ◇ 上記の例では火おこし体験を組み入れておりますが、活動にかかる時間は団体の規模により異なります。
- ◇ 人数やかまどの数が多くなると、それぞれの活動や移動にかかる時間が長くなるので、野外炊飯のみを実施するなど、余裕のある計画を考えてください。
- ◇ 火おこし体験を実施せずに野外炊飯のみ実施する場合は、上記のタイムテーブル例から火おこしの時間（50分程度）を除いて計画してください。
- ◇ 午後に野外炊飯を行った場合の夕食時刻は（火おこし体験を組み入れた場合）、16時頃となり、それ以降食事的なものはないことを考えると、野外炊飯の活動は、**午前中**を強くお勧めします。